



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 5 月 16 日(月)
日吉神社嫁見祭り 編

日吉神社で毎年申の申に行われる嫁見まつりは、500 年の歴史があり、現在は一年以内に結婚した初嫁や良縁を願う未婚女性が正装して参列しています。全国的にも珍しい行事と言われており、美しく着飾って参道を歩く様子を見ようと、毎年多くの方が訪れます。

なぜか嫁見まつりの日は雨が多く、当日も降ったりやんだりのお天気ではありましたが、介添人や新郎にそっと傘を差しかけられて歩くお嫁さんの姿はより艶やかに映っていたようにも思います。

さて、のしろ白神ネットワークは今回は震災後の風評被害に苦しむ会津若松を応援しようと「がんばろう福島！ 起き上がれ！ 会津若松フェア」と銘打って、境内の福島元気応援隊ブース内で特産品の物販を行いました。これまでの活動を通して会津若松市の「城下町あいづ道草街道」と交流があり、そのご縁で今回の応援隊結成となりました。喜多方ラーメンも豆麩も武者煎餅も起き上がり小法師もあつという間に売り切れ。つられるように、隣のおでんやだまご鍋、焼鳥などどれも完売と大盛況！ ご来場の皆様、ご協力本当にありがとうございました。

去年は休憩スペースとして利用したシーニックデッキ。今年は、「銭高組」のステージとして活躍しました。銭高組は津軽三味線とパーカッションのユニットです。三味線は特に湿気を嫌うということで、空のご機嫌を伺いながらのライブでしたが、ユーモアたっぷりのトークとともに素敵な音色を響かせてくださいました。

隣接する井坂記念館は今年も特別開館にさせていただきました。境内から続く道にはスギ灯りと LED を設置。辺りが薄暗くなるつてくると、ぼんやりと暖かな灯りが浮かび上がり、誘導されたお客様は 81 人にのぼりました。

文： 小野 さくら



艶やかな花嫁行列



会津若松フェアは大人気。お祭りにちなんだ手作りしおりも販売されました。



シーニックデッキを活用したステージは初めての試みでした。



今年も多くの方が来館した井坂記念館。木都能代の基礎を築いた人のことをもっと知っていただきたいですね。

スギで作った誘導灯が灯されると、幻想的な風景になりました。